

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信2018/1 号外

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 北大対策

12月の進路通信で、代ゼミで実施された「北大入試研究会」に参加された先生方にまとめていただきましたが、今回は国語編です。一瀬先生が講師の榎戸智司先生から現代文の問題分析について伺ってきました。北大の現代文の分析ですが、北大だけではなく現代文の問題を解くとき全般にかかわる内容がたくさんあったので、北大を目指している人以外にも参考にしていただければ幸いです。

☆北大国語について

- ・**問題一（評論） 目標35点／50点** ここを確実に得点！
文章の内容や表現を正確に読み、理解し、基本的語彙の漢字による表記、論旨把握能力、一定内容の制限字数名出の表現などの能力をはかることを目的としている。
- ・**問題二（評論） 目標35点／50点** ここも確実に得点！
問題文を正しく読み取り、その内容を文中からの語句の抜き出しと、記述によって具体的に表現できるかを問うことを意図している。
→現代文は6割くらいできていることが多いが、目標は7割。古典が難しいので現代文を取り切れないと厳しい。
- ・**問題三（古文） 目標15点／25点** 10点はキープ
- ・**問題四（漢文） 目標15点／25点** 10点はキープ
→ 古文・漢文の10点をキープするのがかなり苦しい。古文の平均点5.67点。漢文の平均点5.15点。主語が取り切れないことが多い。
- ・**全体 目標100点／150点 ～120分**
→国語は90点くらいで問題なく合格できるが、バランスが欠けるとうまくいかない。
得意科目で苦手科目を補うことはできないし、やらないものはできないので、バランスよく勉強することが重要。

☆時間配分について

- ◎時間は全員足りない。余裕がある人はいない。
 - ◎解く順番は、人によって違う。
 - 古文・漢文の力がある人→先に古文・漢文から解く。
 - 古文・漢文の力がない人→現代文に時間をかける。ない知識は出て来ない！
- ※練習すればスピードは上がる。語彙・背景を知っていると、だいぶ楽になる。

☆北大現代文出題の特徴（一も二もほぼ同じ）

- ・**指示語、指示語を含む一節の説明**
◎指示語の大原則
直前の一文に注目し、その一文を含む段落を一文ずつ前へ前へとさかのぼる。
→答えは単純ではないので、自分でまとめる。
- ・**対比の関係性の説明** → ～と一との違い・「両者」それぞれの特徴
◎答え方の基本 … Aは、b1・b2ではなく、a1・a2であるということ。
うまくない答案 … Aは、b1やb2ではないということ。

～A対Bの関係を探し出し、a1・a2…、b1・b2…を丁寧に追っていく。
～対比の関係性は問いに示されることが多い。
～対応するものを探す。 → ない時は導き出す必要がある。

※余計な知識は足さなくてよい。

- ・**傍線部にある言葉の意味やニュアンスを問うもの**
評論でよく目にする語句に注意
例 普遍 抽象 啓蒙 概念 相対・絶対 …

～当たり前に見ている言葉に気を付けることが大事。わからない言葉は、まず辞書を引いて意味を確認する。その後、身近な言葉に言い換えたり、一言でまとめたりして使える知識にすることが重要。

- ・**本文全体を踏まえる最終設問**
先の問いの答えが2／3
問○で答えた～と問△で答えた一をつなぎ、最終設問の傍線部周辺をまとめる。

～先の問いに誤読があると連動して失点してしまう。
～逆に前が間違っているのに、最後は有っている場合もある。
→振り返って直せる力も必要。ただし時間との戦い。

☆平成29年度の問題一について（本文や問題は載せないの、赤本などで確認してください。）

※問二から五について、句点のないもの・誤字・脱字・結び（理由説明か内容説明か）が正しくないもの 各1点減

- 問一** 漢字の書き取りですが、北大の場合、常用漢字表の範囲内での出題。
→漢字の書き取りで二つ以上のミス＝語彙が少ない ＝ 現代文全体で得点できていない傾向がある

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 3 正統 → ×当 | 4 戦慄 → ×旋律（しかも「施」になっている） |
| 5 随筆 → ×髓・隋 | 6 亀裂 → ×危 |

～意味を類推することができていない。認識できていることと書けることは違うので要注意。
～漢字ができない人は、できるだけ早いうちに練習すること！代ゼミの先生は、浪人生の夏期講習中に「夏休み中に漢字のテキストを1冊やること」と言っているそうです。

問二 模範解答 科学的・合理的思考が特権的な優位を占める時代。

北大の採点基準

- ①「啓蒙の時代」とカギ括弧をつけた部分の説明。
- ②本文、傍線部の次の段落で「表向きは」で始まる一文を素材にまとめれば正解。
- ③「科学的・合理的」「特権的な優位」「時代」の要素のうちいずれかを欠く場合は減点。
- ④余分な字句がある場合は減点。

北大の基準に合わない答案A 科学的・合理的思考が特権的な優位を占める世界。

本文二段落目の一節をそのまま抜き出しの問いに答えるようにしているが、本文の表現をつなぎ、一部を自分の言葉に置き換える作業ができていない。「どのような時代か」という問いに正確に答える練習ができていない。「抜き出せ」と「説明せよ」は違うので、聞かれたことに答える。高得点になるかの大きなポイントで、こうしたミスの積み重ねが点数の差になる。

北大の基準に合わない答案B 不可視なものを人間そのもののなかに定める時代。
C 内面を抱えた私を土壌として生育する時代。

- ・本文冒頭の「近代とは、啓蒙の時代のイメージとは裏腹に、妖怪が不可視の厚みを持った人間そのもののなかに居場所を定める時代、内面を抱えた私を土壌として生育する時代」の対比の関係が読み取れていない。
- ・「啓蒙（思想）」が近代のキーワードであることの知識がない。言葉は見えていても、意味を深く考えていなかったり、正しく把握していなかったりする。意味が分からない言葉は絶対にそのままにしておかずに、辞書で意味を確認すること。

・「 」の用法を理解していない。 **傍線部Aの前後の「 」＝いつてみれば と言い換えられる。**

問三 模範解答 妖怪は「自然」に対する畏怖に関わるが、「自然」の神秘性が失われ、虚構のキャラクターとなったから。

北大の採点基準

- ①傍線部の直前の「つまり」に注目し、それまでの論旨を踏まえる必要あり。
- ②後段の抽象化した説明を利用。
- ③理由説明問題であるため、単に言い換えをしただけの答案は減点。

北大の基準に合わない解答 ～をリアルなものとしては受け止められなかったから。

傍線部の同語反復をしたような答案になっている。「なぜか」という理由説明問題の着手としては間違っていない。「幽霊は生々しいものとして捉えられるが、妖怪は虚構のキャラクターとして受け止められたため、リアリティを感じない。」というように、まず、傍線部を言い換える作業はあってよいが、時間に追われる中で、**答える前に、「何が問われているか」の確認が重要である。**「なぜか」が問いであるとわかれば、「妖怪は虚構のキャラクターとして受け止められたため」という部分が答えるべき部分だとわかる。

問四 模範解答 現代の日本人は、リアリティを妖怪には感じず、幽霊に感じるが、江戸時代では、幽霊は狐や狸が化けた姿だとされ、リアリティを現代とは反対の方に感じていること。

北大の採点基準

- ①「幽霊」と「妖怪」に関して、現代と近世を対比させ、「リアリティの逆転」を説明。
- ②現代は「幽霊」にリアリティを感じ、近世は「妖怪」にリアリティを感じるという対比。

北大の基準に合わない答案

- A 江戸時代には、狐狸が人を化かすことがリアルであったが、現代では、そのことよりも死者の霊が再び姿を現すことの方がよりリアルなものだと考えるようになったということ。
- B 江戸時代の人々は死者の霊が現世に姿をあらわすより狐や狸が人を化かすのがリアルだったが、現代の人々は死者の霊があらわれることがリアルだということ。

・現代と近世を対比的に捉えることはできたが、要素が不十分である。
「現代と近世」「幽霊と妖怪」という二つの対比を丁寧に入れていく必要がある。→厳しく言うと「雑」な答案。

C その時代におけるエピステーメーがかわったことによりリアルに感じる基準も変わり、大多数の人間が共感しえるものが、以前そうであったものに成り変わったということ。

- ・傍線部の直前の「ここには」が意識できていないために、「リアリティの逆転」の一般的な説明になった。
- ・答案の前半部分は理解できていると考えられるが、後半部分がわかりにくい。
→抽象を抽象に言い換えている。（「大多数の人間」→誰？ 「以前」→いつ？）

問五 模範解答 近世の妖怪や幽霊は、自然に対する恐怖にかかわり、誰にでも見えたのだが、近代においては、コントロール可能な自然に代わって人間が不気味な存在として意識されることで、幽霊が特権化され、主観的視覚を通してしか見るができなくなったということ。

北大の採点基準

- ①近世と現代を対比して、妖怪や幽霊の見え方の変化を説明。
- ②近世は人間の外部、現代は人間の内部、がそれぞれ恐怖の対象。
- ③近世は「見える」、現代は「見えない」、それぞれのポイント。
- ④文中の語句を抜き出してつぎはぎしただけでは重複が多く冗長。自分の言葉でまとめ。

北大の基準に合わない答案

A 前近代において、妖怪や幽霊は見る方法があり、ある一定の手順を踏むだけで誰でも妖怪を見ることが可能だったが、近代においては、妖怪と人間の主観的視覚が結びつけられたことによって、特定の個人以外に共有され

ることのないものへ変わったということ。

現代と近世を対比的に捉えることはできたが、要素が不十分である。近代の「不気味な存在である人間」に対する、近世の「自然にかかわる妖怪や幽霊」という文章の全体構造が結び付けられない。

B 近代になり妖怪が人間の主観的視覚と結び付けられ、私秘化された存在へと変容していったことで妖怪や幽霊を見るのは自分であり自分以外の人間に見えたという視覚は共有されず、視覚の主観化・個人化が見える者・見えないものという弁別を生み出したということ。

- ・「主観的視覚」「私秘化」などが自分の言葉に置き換えられない。
- ・傍線部の「近世・近代」が意識できていないために、傍線部周辺の、近代についての説明のみになった。
- ・「変容の背景も含めて」という問いの条件のもと、最終設問が文章全体にかかわることが意識できていない。

☆北大現代文 合格へのカギ

○評論読解のポイント

① 文章の対比構造を把握する！ 例 近代 対 近世

◎② 抽象的説明と具体例を分けて意識し、それらが同じことの説明であることを確認する！

例 具体～「ゲゲゲの鬼太郎」 → 抽象～「虚構のキャラクター」

③ 言葉の意味を考える！ ～当たり前に見ている言葉に気を付ける。 例 啓蒙 相対・絶対

④ 指示語の指示内容を正確に把握する！
大原則 直前の一文から→その文を含む段落のさかのぼり
さかのぼっている途中にさらにある指示語にも注意！

⑤ 接続語の用法（動き）を考える！
例 しかし・すなわち・また・そして など
※ 小樽商大ではよく出題されるが、わかっていない場合が多いので、確認が必要！

☆ 結局、大切なのは … 一文ずつ丁寧に読み続けること

○答案作成のポイント

① 設問の条件をよく理解する！

① 対比の関係性を意識して答える！
例 Aのポイントが二つあるなら、それと対比的に述べられたBのポイントも二つにする

② 答案の基本は抽象的説明！
※ 設問が「具体例を用いて～」となっていたら、それは具体的に答えること
※ 指示語の問いもその中に具体例があれば、それはそのまま入れること
※ 「具体的にせよ。」は「わかりやすくせよ。」ということ。「具体例を入れる」という意味ではないので注意。

③ 文章のニュアンスを考えて答える！
※ 言葉の意味から考えて、プラスの意味合いなのかマイナスの意味合いなのか。

④ 特に気を付けたいのは並立関係！
例 また～・～も・～や … 筆者が並立させているものの一方を軽く扱わない！

☆ 結局、大切なのは … 筆者の論理を崩さず、素直にまとめること

※これが一番時間にロスがない。
※筆者の書いた順番を入れ替える。 = 思考に無駄がある。